

幸せの国ブータン ～その政治と社会～

日時： 2019年6月14日（金曜）

時間： 18：15～19：45

会場： 慶應義塾大学日吉キャンパス
来往舎2階大会議室

使用言語： 英語および日本語



講師： ソナム・キングア (Sonam Kinga)

国立ブータン研究所研究員、ブータン・オブザーバー紙編集長を歴任し、2008年より国民評議会(NC)議員、2013年より同議長を務めた。任期中は政党や君主の役割に関して多くの議論を牽引した。2010年京都大学より博士（地域研究）の学位を取得。

「幸福大国」として知られるブータン。その静的で一元的な表象とは裏腹に、そこに在る暮らしと政治は現在様々な変化の波に揉まれている。特に2008年に行われた立憲君主制への移行は、国の要であった王権と議会の関係を大きく変容させ、王権をめぐる象徴操作と物語構築のあり方にも影響を与えている。

本セミナーでは、民主化直後のブータン政治の動態を、政党政治と君主制との緊張関係から捉えなおしつつ、デモクラシーのオルタナティブな可能性について考察する。

連絡先： 宮本万里（商学部准教授 mm@keio.jp）

後援： 慶應義塾大学教養研究センター